

事業実績書

令和6年度実績

1. 地域づくりの活動方針(テーマ)

第4次5か年計画の2年目となる今年は、昨年試みた若者を中心とした地域内の行事内容を今年も活かしながら、「笑顔でつながるふるさと陶」のキャッチフレーズのもと、様々な地域課題に積極的に取り組みます。

2. 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	笑顔でつながるまち 陶		
	事業名	運動会・ふれあいまつり	決算額	357,159円
②	視点	歳を重ねてもhappyなまち 陶		
	事業名	ふれあいウォーキング	決算額	9,377円
③	視点	誰もがつながり支えあうまち 陶		
	事業名	陶クリーン作戦	決算額	358,421円
④	視点	帰りたくなるまち 陶		
	事業名	文化財保護活動	決算額	10,775円
⑤	視点	帰りたくなるまち 陶		
	事業名	夏フェス	決算額	100,000円

3. 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

	検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①	「陶地区民運動会」は、昨年同様午前中開催で、一部競技内容を変更し、実施した。「陶ふれあいまつり」は、秋吉台サファリランドより、小動物を誘致し、動物とのふれあいに大人も子供も楽しんだ。	◎
②	今年度、ふれあいウォーキングは、南コースの史跡をめぐるコースで、天気も良く、昨年より参加者も2名増え、35名で心地よい汗をかいた。	◎
③	第56、57、58回を迎えた陶クリーン作戦だが、第56回は、梅雨時期でもあり、当日小雨降る中、236名の参加による、草刈り、草収集、ゴミ収集を予定通り実施することができた。	◎
④	今年度も、陶連合自治会の文教部会と、西陶子供会による陶陶窯跡周辺の清掃作業を行った。また、やまぐち21元気ミーティングに、陶陶窯跡の風化を防止して頂く様、要望した。	○
⑤	昨年に引き続き、陶夏フェスは地元若者を中心に企画・運営を行い、市長も来場され、じゃんけん大会で、子供たちと大いに盛り上がった。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

第4次陶地域づくり計画・陶地区福祉活動計画の2年目となり、コロナ禍の明けた昨年よりさらに、変革の年となった。特に、「陶夏フェス」は、若者が何度も会議を重ね、開始時刻を昨年より2時間早め、地域の方々に長く楽しんで頂くことができた。

また、「陶ふれあいまつり」は、まつりを盛り上げるために、オリジナルの提灯を100個作成し、会場の一体感が醸成された。陶中央部を清掃する年3回の「陶クリーン作戦」も、参加者の高齢化が進む中、地元企業や他国の研修生の参加を頂き、スムーズな清掃活動ができた。

今後も、イベントについては、若者を中心にいろいろな意見を取り入れ、また「陶クリーン作戦」のように、高齢化が問題になる行事については、安全に作業できるよう、作業内容の見直しを進めて行く。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	4,366,350円								
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、費用弁償、事務費、通信費 (成果・評価) 事務局長も2年目になり、情報収集、資料作りも順調に進んできたが、各単位自治会長が今年度16地区のうち、8地区が新任のため、提出期限の資料の収集に苦慮した。 (今後に向けて) 事務局員の人件費の問題に取り組みながら、運営の改善に努める。								
	(費用明細) <table> <tr> <td>事務局長給与</td><td>1,814,500円</td></tr> <tr> <td>事務局員給与</td><td>1,944,817円</td></tr> <tr> <td>労働保険料</td><td>43,027円</td></tr> <tr> <td>事務費</td><td>564,006円</td></tr> </table>	事務局長給与	1,814,500円	事務局員給与	1,944,817円	労働保険料	43,027円	事務費	564,006円
事務局長給与	1,814,500円								
事務局員給与	1,944,817円								
労働保険料	43,027円								
事務費	564,006円								

(2) 地域振興

事業名	人材発掘、人材育成
事業費	15,852円
事業概要	(実施内容)「陶のこれから部会」による、陶夏フェス、陶ふれあいまつりの企画会議実施。 (実施時期) 7月、8月、9月、10月、11月 (参加人数) 50名 (成果) 陶夏フェスは、陶在住の若者に、実行委員が声掛けをし、当日の手伝い、後日の後始末を実施。陶ふれあいまつりは、企画会議を重ね、メインイベントを決定した。 (評価) 陶在住(小・中学生含む)に声掛けし、若者が参画できた。 (今後に向けて) 今後も若者を取り込んだイベントを実施する。

事業名	広報活動の推進
事業費	767,655円
事業概要	(実施内容) ①広報紙「まるごと陶」を例年通り、毎月発行し、各戸配布及び、地方発送実施。 ②フェイスブック「まるごと陶」で情報発信継続。 (実施時期) ①、②共に令和6年4月～令和7年3月まで(No.149～No.160) (参加人数) ①毎月第2水曜日編集委員会(96人) (成果) ①住民が知りたい情報を分かりやすく掲載していることが評価され、広報紙「まるごと陶」が県公民館報コンクールで優秀賞を受賞した。 (評価) ①住民との双方向性、紙面構成など工夫したところを評価された。 (今後に向けて) ①『まるごと編集会議』以外にも、参考意見を聞き、「まるごと陶」を充実させる。

事業名	ふれあい行事の見直し
事業費	457,159円
事業概要	(実施内容) ①陶地区民運動会 ②陶夏フェス ③陶ふれあいまつり ④陶オリンピック ①陶地区民運動会は、昨年同様午前中開催で、一部種目を変えて実施した。 ②昨年より早めの時間に開始し、夏休み最後の日を、グルメや縁日で賑わった。 ③秋吉台サファリランドより、移動動物園を招致し、大人も子供も動物との触合いを楽しんだ。 ④来年度「総務部会」で、2月と5月にある球技大会に代わるものとして、体育委員やスポーツ推進委員へニュースポーツの検討を提言した。 (成果) ①新しい競技を加えたが、スムーズに競技できた。 ②2時間早く始めたことにより、後始末が早く終了した。 ③珍しい小動物に触合えて、大変盛り上がった。 ④来年度に向けて検討する。 (評価) 地区民運動会は、午前中開催が定着し、高評価であり、陶夏フェスは、昨年に比べ、地区外の来場者が増えた。陶ふれあいまつりは、小動物が珍しく高評価だった。 (今後に向けて) 常に、新しい企画を考案し、実現に向けて努力して行く。

事業名	活動グループの育成
事業費	13,509円
事業概要	(実施内容) 地区民中心の活動グループ(①ふれあい農園クラブ、②陶助人隊、③写友陶)を支援する。 (実施時期) ①4月～翌年3月 ②7月～11月 ③年6回 (参加人数) ①会員18人 ②隊員10人 ③会員9人 (成果) ①例年通り、畑を借りて、1回/週 野菜の植え付けから収穫までの作業を1年通して実施した。 ②今年度、『陶助人隊の設置要綱』を作成し、業務内容を明確にし、地区内の除草など28名が参加した。 ③「陶の行事&四季」の写真コンテストを実施し、32の作品の中から良いと思うものを選び、投票した。 (評価) ①野菜は、18種類に及び、収穫後地域に配布したり、陶ふれあいまつりの豚汁の具材に提供した。 ②陶中央公園を中心に、夏の暑い時期、除草することで、来園者の安全に繋がった。 ③毎年、写真のレベルが上がってきた。 (今後に向けて) ①コミュニケーションを強化し、継続する。②除草に限らず、地域活動を充実する。 ③写真の技術レベルの向上により、更なる陶地域の魅力発信に期待する。

(3) 地域福祉

事業名	子育て支援の推進
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) キッズ陶来楽夢 (小学生手作り教室) (実施時期) 7月、9月、11月、12月、1月、3月 (成果) 3, 4, 5, 6年生を対象に、放課後、手芸、料理、裁縫を楽しく実施した。 (今後に向けて) 保護者の急な用事等の放課後の児童の預かりにも対応する。

事業名	小規模福祉の輪づくり
事業費	15,000円
事業概要	(実施内容) 『介護予防講座』と題し、講師を招き脳トレーニング・体操・コーラス・演奏会を実施。 (実施時期) 4月、6月、8月、10月、12月、2月 (成果) 保健士による高齢者の健康管理、認知症予防、転倒骨折予防を学び、お楽しみの会(クリスマス会)も、みんなで楽しく実施できた。 (今後に向けて) 今後も工夫し、健康管理に努める。

事業名	三世代交流の推進
事業費	67,234円
事業概要	(実施内容)①カルタ大会。 ②小学校で田植え体験。 ③小学校で稲刈り体験。 ④もちつき体験。 (実施時期)①6月2日 ②6月14日 ③10月3日 ④1月26日 (成果) ①小学生、保護者、地域の方合わせて、約200人が参加し、大変盛り上がった。 ②小学5年生が、地域の方と、昔の田植えの道具「返し定規」を使った田植えに挑戦した。 ③小学5年生が、手で刈る体験と、コンバインに乗車する体験と2種類の稲刈りを体験した。 ④小学生と保護者、地元の方でもちつき体験を実施した。 (効果)小学生が、お米の出来るまでを体験でき、また、保護者の中で、餅つきの経験がない方がこどもと合わせて、貴重な体験になった。 (今後に向けて) 今後も昔ながらの方法で、お米の収穫、もちつき体験を実施する。

事業名	地域福祉講座の開催
事業費	4,912円
事業概要	(実施内容)①地域福祉講座の開催。 (実施時期)①9月27日 (参加人数)①37人 (成果)①講師を招き、「ふけない身体づくり」をテーマに、握力測定、片足立ち、30秒間のスクワットを実施し、自分の健康状態を知ることが出来た。 (今後に向けて) ①健康寿命を延ばすために、今後も福祉講座を開催する。

事業名	高齢者のサポート
事業費	175,057円
事業概要	(実施内容)①敬朗祝賀会の実施。 ②西京だいがくの開催支援。 ③フォークダンス同好会の支援。 (実施時期)①9月16日 ②8月25日 ③1回/2ヵ月 (参加人数)①600名 ②60名 ③60名 (成果)①今年度は、祝賀行事は行わず、対象者に祝い品を贈呈した。 ②金融広報アドバイザーによる特殊詐欺防止や、管理栄養士によるアドバイスを受けた。 高齢化社会を生き抜くための『カギ』が非常に勉強になった。 ③練習の成果を、陶ふれあいまつりで披露した。 (今後に向けて) 今後も継続して、健康寿命を延ばすための高齢者サポートを実施する。

事業名	交通弱者支援事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容)高齢により、車の運転ができない方が、安心して病院や、買い物に行ける方法を検討する。 (実施時期)1回/6ヶ月 (評価)移動販売もあるが、品揃えを求めた場合や、病院への移動手段はどうしても車に頼るしかないが、今年度は、こういった移動困難な高齢者の対応について協議した。 (今後に向けて) 今後、自家用車による輸送等、多様な移動手段を検討する。

事業名	健康管理活動・保健講座
事業費	9,377円
事業概要	(実施内容)①地域内の約5kmの史跡巡りで体力の向上(ふれあいウォーキングin SUE)。 ②百歳体操・介護講座の支援。 (実施時期)①11/9 ②毎週金曜日の4回/月 (参加人数)①35名 ②約120名 (成果)①今年は、ふれあいウォーキング西コース(5km)で、陶の史跡をめぐり、健康増進に努めた。 ②百歳体操に、男性の参加者も増え、健康意識の向上がうかがえた。 (評価)①時間の関係で、コースを短縮したが、天気も良く体力の向上に繋がった。 ②一人での体操は、ハードルが高いが、みんなと楽しくやることで、志気が向上した。 (今後に向けて)内容を工夫しながら、継続してゆく。

(4)安心・安全

事業名	反射鏡設置・修復
事業費	0円
事業概要	(実施内容)反射鏡の清掃、点検・修理依頼実施。 (実施時期)4月14日、9月22日 (成果)交通安全対策協議会員で、例年通り地区内の反射鏡の清掃及び、曇り・破損の点検を4月と9月に実施した。 (評価)昨年8件の破損を市に報告した所、改善されており、今年度新たに6件ほど破損した反射鏡を市に報告した。 (今後に向けて) 反射鏡が破損し、小学生が巻き込まれたという事故例を教訓に、今後も反射鏡清掃の継続及び不具合箇所の早期改善を進めて行く。

事業名	空き家・空地の利活用
事業費	0円
事業概要	(事業内容)陶地域の空き家・空き地を有効活用する。 (成果)空き家の戸数調査に終わった。 (今後に向けて) 遊休農地も含めた利用法を検討する。

事業名	自主防災活動の推進
事業費	50,388円
事業概要	(実施内容)①小学校と合同で避難訓練。②炊き出し訓練。③土嚢づくりの実施。④他地域の訓練視察。 (実施時期)①11/6 ②11/17 ③6/2 ④8/25 (成果)①児童に消火器の訓練を指導した。②陶ふれあいまつりで例年通り炊き出しを実施した。 ③春日神社に土嚢50袋作成した。④名田島地域の防災訓練に自主防災委員10名が参加した。 (今後に向けて)他地域の防災訓練に参加したため、これを陶の各自治会に活かせるように努める。

事業名	要援護者の支援
事業費	0円
事業概要	(実施内容)「避難マイプランマップ」作成のため、名田島地域の避難訓練に参加し、講習も含め防災意識の向上には繋がったが、「避難マイプランマップ」の作成までには至らなかった。 (今後に向けて)来年度、各自治会での避難場所を確立し、「避難マイプランマップ」作成をめざす。

事業名	交通マナーアップin SUE
事業費	58,900円
事業概要	(実施内容)例年通り、交通安全期間中に安全旗の掲揚、早朝の立哨実施。また、交通安全看板の点検実施。 (実施時期)4月、7月、9月、11月、12月、1月 (参加人数) 75名 (成果)交通マナーアップinSUEの旗を新たに購入し、各地区の古い旗と交換した。 (今後に向けて)引き続き交通立哨と、安全旗の更新や啓発活動を推進する。

(5)環境づくり

事業名	土木工事:法定外公共物
事業費	3,403,000円
事業概要	(実施内容)法定外公共物等の整備 「里道の舗装工事1件、水路の改修工事3件」 (実施時期)令和6年8月～令和7年3月 (成果)里道舗装80m、水路の改修工事3件を実施した。 (効果)水路は、ベンチフリュームに変更することにより、増水にも対応できるようになった。 (今後に向けて)年々老朽化してゆく里道、水路の改修工事に対応してゆく。

事業名	陶クリーン作戦 (道路環境美化)
事業費	358,421円
事業概要	(行事内容)地区内の県道、市道周辺や通学路の環境美化、陶中央公園の清掃を実施した。 (実施時期)①7月 ②11月 ③2月 (参加人数)①236人 ②219人 ③46人 (成果)今年度、ブロワーとチェーンソーを各1台追加し、短時間で作業が出来るようになった。 (評価)草刈り機で対応できない所を、チェーンソーで安全かつ楽に作業出来るようになった。 (今後に向けて)年々高齢化してゆくため、安全かつ楽に作業できる様、機械化を進める。

(6)地域個性創出

事業名	再発見「素晴らしい陶」
事業費	172,590円
事業概要	(実施内容)①陶地区の良さを写真で紹介する「陶の行事&四季」写真コンテストの実施。 ②陶地域交流センター前の、陶地域案内板を更新。 (実施時期)①11月17日 ② 3月 (参加人数)①38人 ②38人 (成果)①32点の作品を、審査し表彰した。②今年度、文教部会員でデザインを考案した。 (評価)①年々作品のレベルが上がってきた。②陶地区の主な建物、神社仏閣が明確にデザイン出来た。 (今後に向けて)②今年度完成したデザインを、来年度案内看板として掲示する。

事業名	陶ふるさと大学(史楽会)
事業費	116,760円
事業概要	(実施内容)①富永有隣を訪ねて視察研修。 ②「木造釈迦如来坐像及び両脇侍像」講演会開催。 (実施時期)①7月30日 ②2月15日 (参加人数)①22人 ②58人 (成果)①ふるさと陶史楽会結成記念事業として、富永有隣の足跡を訪ねて、萩市へバス視察研修を実施した。②県内外から58名の参加があり、仏像の歴史について学んだ。 (評価)①炎天下の中、陶出身の富永有隣と吉田松陰の出会いの場を訪ねることができた。 ②仏像の歴史についての講演に、大変勉強になった。 (今後に向けて)地元の文化財について、勉強会を進めて行く。

事業名	文化財保護活動
事業費	10,775円
事業概要	(実施内容) 陶陶窯跡周辺の清掃を地元地区の子供たちと文教部会員で実施。 (実施時期) 1月 25日 (参加人数) 子供 8名 大人 16名 (成果) 国指定の陶陶窯跡周辺を、例年通り地元子供会の子供たちとその保護者、文教部会員で清掃を実施し、維持管理に努めた。 (評価) やまぐち21元気ミーティングで、陶陶窯跡の風化防止を取り上げた関係で、覆屋の改修や階段周辺の整備が施してあり、清掃が容易であった。 (今後に向けて) 異常気象の昨今、維持管理が厳しくなるが、劣化が進まないよう努力する。

事業名	陶ブランドの立ち上げ
事業費	71,131円
事業概要	(実施内容) ①すえっきい饅頭を陶ふれあいまつりで販売した。 ②すえっきいポロシャツの販売強化。 ③竹林の整備計画、竹林再利用計画化。 (実施時期) ①11月17日 ②7月～11月 ③8月 (参加人数) ① 4人 ② 2人 ③ 40人 (成果) ①試作を繰り返し、昨年より美味しい饅頭が作成できた。 ②31枚販売。 ③竹をそうめん流しの材料に使用。 (評価) ①好評で完売した。②昨年より11枚多く販売した。③子供が鋸を使うのに苦戦した。 (今後に向けて) 饅頭以外の陶ブランドを検討する。

事業名	地元文化育成
事業費	25,000円
事業概要	(実施内容) 地元の音楽愛好家や、詩吟・カラオケで、陶ふれあいまつりを盛り上げた。 (実施時期) 11月17日 (参加人数) 30人 (成果) 地元の音楽愛好家6団体がステージに上がり、陶ふれあいまつりを盛大に盛り上げた。 (評価) 幅広いジャンルで、聞くものを魅了した。 (今後に向けて) 内容を工夫し、今後も続けて行く。

事業名	コミュニティ・スクールの支援
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) 陶小学校コミュニティースクール活動を支援した。 (実施時期) 4月～翌年3月 (成果) 創立150周年記念事業を核とした、取り組みを推進した。 (評価) 学校・家庭・地域が協働した、暖かい学校づくりが進んでいることを実感した。 (今後に向けて) 来年度より、運動会春開催など大きな学校行事の見直しが行なわれるため、学校・地域連携カリキュラムの見直し等を行い、更なる支援を進めて行く。